

2018年度 I 期

こんなに面白い!

古典文学に親しむ…

源氏物語に親しむ

～各巻のあらすじとそのエッセンスを味わう～

講師：青木 登 紀行作家



源氏物語は平安時代の紫式部が書いた世界最高の文学作品。日本人にして、源氏物語を知らずに無為に過ごすのは惜しい。源氏物語には日本人の感性・喜怒哀楽・生き方・美しい日本の自然など、日本のすべてが凝縮されている。

しかし、源氏物語は余りにも長すぎる。また千年前のことで現代の私たちにとって、どうしてもよいことが書かれている。

そうしたことをカットして、源氏物語のエッセンスだけを取り上げて読むと、どんな現代小説よりも面白い。人間について、自然について、学ぶことが多い。

源氏物語は54帖(巻)から構成されているが、各巻が独立した一つの物語になっている。講座では各巻のあらすじを紹介しながら、重要な原文を取り出して読んでゆく。難しい古語や文法は無視して、誰にでもわかるように解説する。学生時代に古文の嫌いであった方を特に歓迎。誰でも源氏物語はこんなに面白かったのかとわかるようになる。

講座の進め方は、1回2時間、2～3巻ずつ読んでゆく。全部読むのに20回くらい必要になるが、源氏物語はどこから読んでも面白く、どこでやめてもよい。それが源氏物語の魅力である。奥深さである。2018年4月期からは、7巻「紅葉賀」から巻20「少女」まで読む。

- 第1回 巻7「^{もみじのが}紅葉賀」・巻8「^{はなのえん}花宴」
- 第2回 巻9「^{あおい}葵」・巻10「^{さかき}賢木」・巻11「^{はなちるさと}花散里」
- 第3回 巻12「^{すま}須磨」・巻13「^{あかし}明石」
- 第4回 巻14「^{みおつくし}霽標」・巻15「^{よもぎう}蓬生」・巻16「^{せきや}関屋」
- 第5回 巻17「^{えあわせ}絵合」・巻18「^{まつかぜ}松風」
- 第6回 巻19「^{うすぐも}薄雲」・巻20「^{おとめ}少女」



日時 2018年 4 / 12・26 5 / 10・24 6 / 14・28

第②・④木曜日 10:00～12:00

場所 (公財)社会教育協会 日野市多摩平1-2-26 シンデレラビル3階

(JR 豊田駅北口徒歩1分 1階が「すき家」)

講師 青木 登 (紀行作家・NHK 多摩カレッジ講師)

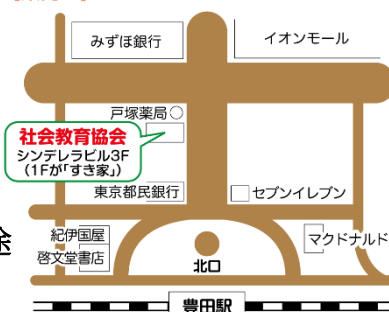
参加費 11,970円(全6回・消費税込)教材費 1,200円別途

申込み 電話か FAX でお申込み下さい。

TEL042-586-6221 FAX042-589-3626

主催 公益財団 社会教育協会 〒191-0062 日野市多摩平 1-2-26 シンデレラビル 3階

【案内図】



キャンセルされる場合は、当協会の規定によります。



- 第1回 卷7「紅葉賀」・卷8「花宴」
第2回 卷9「葵」・卷10「賢木」・卷11「花散里」
第3回 卷12「須磨」・卷13「明石」
第4回 卷14「滯標」・卷15「蓬生」・卷16「関屋」
第5回 卷17「絵合」・卷18「松風」
第6回 卷19「薄雲」・卷20「少女」

